

# 第3回教育委員会（定例）議事録

## 1 開 会

令和4年6月29日（水） 14時00分

## 2 場 所

丹波篠山市立ハートピアセンター 多目的ホール

## 3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊  
委 員 西田 正志  
委 員 垣内 敬造  
委 員 山本 恭子  
委 員 鈴木 友美

## 4 会議に出席した職員

学校教育部長 西羅 忠和  
こども未来部長 稲山 悟  
社会教育部長 小林 康弘  
学校教育次長 岸田 幸雄  
こども未来次長兼保育教育課長 西嶋 睦美  
教育総務課長 中野 悟  
学校教育課長 浅田 智広  
学 事 課 長 山本 毅  
教育研究所長 大野 圭一  
東部学校給食センター所長 石田 哲也  
西部学校給食センター所長 齋藤 昭  
子育て企画課長 竹見 朋子  
社会教育課長 谷掛 昭二  
中央図書館係長 棚橋 直人  
田園交響ホール館長 酒井 直隆  
総 務 課 長 河南 剛  
中央公民館長 大路 和浩  
教育総務課係長 田中 真紀子

## 5 議事日程及び議案

別紙の通り

## 6 開会宣言

14時15分

## 7 会 期

（自）令和4年6月29日

（至）令和4年6月29日 1日間

## 8 会議録署名委員名簿

山本 恭子 委員

## 9 閉 会

15時54分

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 丹後教育長<br>全委員<br>丹後教育長        | <p>日程第 1、令和 4 年度第 2 回会議録の報告、承認について意見等はないか。異議なし。</p> <p>全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p>   |
| 丹後教育長                        | <p>日程第 2、会議録署名委員は 3 番山本委員とする。</p>   |
| 丹後教育長                        | <p>日程第 3、会期は令和 4 年 6 月 29 日、本日 1 日間とする。</p>   |
| 丹後教育長                        | <p>議案に入る前に、前回 5 月 18 日に開催した第 2 回定例教育委員会において、教育委員の皆さんからのご質問に、「改めて回答する」としていた 2 件について回答する。</p> <p>まず 1 件目、先ほど承認いただいた会議録 5 頁をお開きいただきたい。報告 6 号「令和 4 年度 5 月小・中・特別支援学校定例校長会について」、西田委員からのご質問、「教職員の交通事故について報告をするようにと説明があった。市職員が報告する交通事故はどのような事故が対象なのか。」について、教育総務課から回答する。</p>     |
| 中野課長                         | <p>交通事故（交通違反）における職員の処分の基準については、「市職員の懲戒処分などに関する基準」において、「交通事故など処分基準」を設けている。</p> <p>その中で、交通事故、スピード違反があった場合、直ちに所属長に報告するということとしている。具体的には、スピード違反 30 キロ以上 50 キロ未満の場合、相手方が「死亡の場合」は、免職または停職。相手方が「重症の場合」は、停職または減給。相手方が「軽傷、物損事故の場合」は、減給または戒告。検挙のみ場合は戒告以下（訓告、嚴重注意）の処分の基準を設けている。</p> |
| 西田委員<br>中野課長                 | <p>スピード違反は、30 キロ以上オーバーについて報告せよということか。</p> <p>どのような交通違反であっても直ちに所属長に報告しなさいとなっている。よって、スピード違反も何キロオーバーに関わらず報告しなければならない。ただ、30 キロ以上 50 キロ未満のスピード違反が公務外の場合は、処分の対象にはならない。</p>  |
| 西田委員<br>岸田次長                 | <p>教職員の場合はどうか。</p> <p>教職員の場合も、迅速に「発生から」3 日以内に被害事故、物損事故、軽傷事故、違反については極端な速度超過違反ということで 30 キロ以上の制限速度違反、重大事故について報告することとしている。</p>  |
| 西田委員<br>岸田次長<br>西田委員<br>岸田次長 | <p>10 キロオーバーのスピード違反の場合、報告はしなくていいのか。</p> <p>報告するよにとの指導はしていない。</p> <p>市職員と教職員は異なるのか。おそらく、県教育委員会への報告は 30 キロ以上オーバーのもので、所属長への報告は全ての違反が必要なのではないか。</p>   |
| 岸田次長                         | <p>そのとおりで、所属長への報告は、軽度の事故でも報告は求めており、県</p>  |

|       |  |
|-------|--|
|       | 教育委員会への報告は基準により行っている。  |
| 丹後教育長 | 続いて2件目、会議録6頁をお開きいただきたい。報告8「丹波篠山市今田幼稚園・今田保育園在り方検討委員会について」、西田委員からのご質問、「古市地区から今田保育園に通っている0～3歳児は何人か」について、子育て企画課から回答する。 |
| 竹見課長  | 今田保育園で、現在0～3歳児43人のうち、古市校区から通っている園児数は12人である。  |
| 丹後教育長 | 日程第4、議案に移る。議案第5号の「丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について」社会教育課説明を求める。   |
| 谷掛課長  | 《議案書に基づき説明》  |
| 丹後教育長 | 質疑はないか。  |
| 丹後教育長 | 議案第5号の「丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について」採決をする。異議はないか。   |
| 全委員   | 異議なし。  |
| 丹後教育長 | 全員賛成で、議案第5号の「丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について」原案どおり可決する。  |
| 丹後教育長 | 日程第5、承認事項に移る。承認第3号「篠山中学校大規模改修工事請負契約について」学事課説明を求める。   |
| 山本課長  | 《議案書に基づき説明》  |
| 山本委員  | 屋上防水等の改修工事ということであるが、屋上がひび割れしているとか雨漏りがあったなど、具体的に破損が大きかったのか。   |
| 山本課長  | 建物のほとんどが瓦屋根であるが、一部だけ屋上がある。そちらが年数経過により雨漏りが発生し、原因の箇所が特定できないために全面的な改修工事となった。  |
| 丹後教育長 | 承認第3号の「篠山中学校大規模改修工事請負契約について」異議はないか。  |
| 全委員   | 異議なし。  |
| 丹後教育長 | 全員賛成で、承認第3号の「篠山中学校大規模改修工事請負契約について」を承認する。   |
| 丹後教育長 | 承認第4号「令和4年度補正予算（第5号）案の市長への提案について」  |

|       |   |
|-------|---|
|       | 教育総務課説明を求める。  |
| 中野課長  | 《議案書に基づき説明》   |
| 竹見課長  | 《議案書に基づき説明》   |
| 西田委員  | 委託料はどのようなものか。<br>また、時間外勤務手当についての詳細を求める。   |
| 竹見課長  | 委託料は、参考資料 17 頁の規約（案）のとおり、丹波篠山市商工会、丹波篠山観光協会、篠山金融協会、丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会で構成する「丹波篠山市クーポン券配布事業実行委員会」組織をつくり、そちらと委託契約を締結し、クーポン券配布事業をする。<br>時間外勤務手当の積算については、会計年度任用職員は、封入作業、発送事務、毎週の抽出発送事務等で 15 時間を 2 名、正職員は、封入作業、委託契約事務、毎週の抽出発送事務等で 34 時間を 3 名で積算している。この人数は、現在子育て企画課に在籍している職員数である。 |
| 稲山部長  | 参考資料 17 頁の規約（案）のとおり、「丹波篠山市クーポン券配布事業実行委員会」は 5 団体で組織をする。丹波篠山市商工会事務局長、丹波篠山観光協会事務局長、篠山金融協会として JA 丹波ささやま、丹波篠山市からは市民生活部長、観光交流部長、丹波篠山市教育委員会からは、こども未来部長で構成し、3 種クーポンを協力して配布する。   |
| 山本委員  | 「子育ていちばん！クーポン券」配布事業は市民に対してのどのように周知するのか。   |
| 竹見課長  | 3 種クーポンのうち、「プレミアム付き商品券」と「子育ていちばん！クーポン券」の 2 種合わせて記者発表を行う。また市ホームページ、市広報紙等で周知する。   |
| 山本委員  | コロナ禍の影響や物価上昇で身近でも生活に困っている人も増えてきているので、この事業は大変ありがたい。参考資料 13 頁に「子育て世帯生活支援特別給付金」と記載があり、これも周知されていると思う。4 月から子育て部署も教育委員会に一元化され、子育ていちばんのまちとして、効果的にこのような事業を実施しているということを市ホームページに並べて市民に提示すると、より市民への周知も効果的であると思う。   |
| 稲山部長  | 社会福祉課が「子育て世帯生活支援特別給付金」を担当している。申請による給付ではなく、対象者を市で把握しているので給付漏れはないと思う。<br>周知方法についてご指摘いただいたことは大事なことなので留意する。   |
| 丹後教育長 | 承認第 4 号「令和 4 年度補正予算（第 5 号）案の市長への提案について」異議はないか。  |
| 全委員   | 異議なし。   |
| 丹後教育長 | 全員賛成で、承認第 4 号「令和 4 年度補正予算（第 5 号）案の市長への提案について」を承認する。   |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 丹後教育長                 | 承認第 5 号「学校運営協議会委員の任命について」教育研究所説明を求め<br>る。   |
| 大野所長                  | 《議案書に基づき説明》   |
| 西田委員                  | 新旧対照表を見ると、以前からお願いしていたコーディネーターの役割を<br>果たせる、地域おこし協力隊や元地域おこし協力隊の方が委員になられてお<br>り感謝する。   |
| 丹後教育長<br>全委員<br>丹後教育長 | 承認第 5 号「学校運営協議会委員の任命について」異議はないか。<br>異議なし。<br>全員賛成で、承認第 5 号「学校運営協議会委員の任命について」を承認す<br>る。  |
| 丹後教育長                 | 日程第 6、協議事項に移る。協議第 2 号「丹波篠山市子育て支援に関する<br>アンケート調査の実施について」子育て企画課説明を求める。  |
| 竹見課長                  | 《議案書に基づき説明》   |
| 丹後教育長<br>西田委員         | ご意見等をお願いする。<br>3 頁、「1 調査目的」の欄、2 段落目、一文が長すぎるので、2 文、3 文に<br>分けた方がよい。<br>6 頁、「2 最後にお聞かせください。丹波篠山市は子育てしやすいまちであ<br>ると思いますか。」の問いがあるが、その理由も書いていただいたらいいのか<br>と思う。                               |
| 竹見課長<br>垣内委員          | 今いただいたご意見については、そのように変更する。<br>4 頁、「あなたとお子さまの情報を教えてください。」のなかで、性別、年<br>齢等の問いがあるが、家族構成は聞かなくていいのか。家族構成ごとの課題<br>について分析がしやすいのではないか。  |
| 竹見課長<br>山本委員          | 検討する。<br>6 頁、問 13「ささっすくすくアプリ（母子モ）」の「母子モ」はどのよう<br>な意味か、教えてほしい。   |
| 竹見課長                  | アプリ名「母子モ」の愛称が「ささっすくすくアプリ」である。わかり<br>やすい表記に変更する。   |
| 鈴木委員<br>竹見課長          | 「母子モ」の登録をしているかどうか聞いてはどうか。<br>事務局としても、問 13 だけでなく問 14 等でも、いただいたご意見のよう<br>な設問は入れたかった。今回のアンケートは、後の分析がしやすいことと、<br>市内子育て全世帯を調査対象とするので、簡単・迅速・大勢に回答いただけ<br>るようにこのような設問を設定し、回答形式も統一した。令和 5 年度には、 |

|       |   |
|-------|---|
| 稲山部長  | <p>「子ども子育て支援計画」見直しのためのアンケートを抽出で実施する。ここでは細部にわたって回答いただける設問を予定している。</p> <p>ご意見に感謝する。できる限りご意見反映できるようにする。回答率50%を目指している。周知もするが、教育委員の皆さんからもお声かけお願いしたい。</p> |
| 垣内委員  | <p>外国籍の方も回答していただけるような配慮もしていただきたい。</p>   |
| 竹見課長  | <p>そのとおりなので調整する。</p>  |
| 西田委員  | <p>9頁、問2、「ふるさとを担う教育」とあるが、今学校教育課ではこのような言い方にしているのか。</p>   |
| 竹見課長  | <p>このアンケートは、丹波篠山市教育大綱をベースに作成し、関係各課に確認を依頼して仕上げた。</p>   |
| 西田委員  | <p>「ふるさと教育」で統一していたのではないかと思う。「丹波篠山の教育」での表記とも整合性をとるようにするべきだと思う。</p>   |
| 浅田課長  | <p>学校教育課では「ふるさと教育」、または「ふるさとキャリア教育」という文言を使うことが多い。</p>  |
| 西田委員  | <p>「名称を知っているのか」という問いなので、どれを問うのが一番市民に適切かという視点でアンケートをしてほしい。</p>   |
| 竹見課長  | <p>他の部分も含めて検討する。</p>  |
| 丹後教育長 | <p>協議第2号「丹波篠山市子育て支援に関するアンケート調査の実施について」は、ここまでとする。いただいたご意見は検討する。</p>  |
| 丹後教育長 | <p>日程第7、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課報告を求める。</p>   |
| 田中係長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 丹後教育長 | <p>報告2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。</p>   |
| 田中係長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 丹後教育長 | <p>報告3「第123回丹波篠山市議会水無月会議一般質問について」教育総務課説明を求める。</p>   |
| 中野課長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 西田委員  | <p>19頁、大西議員の質問で、Qの記載部分について詳細な説明を求める。</p>  |
| 大野所長  | <p>意識調査の記述部分を捉えて、研修が十分ではないのではないかというご質問があった。意識調査を実施したのは、昨年度、事務局が全教職員に対しての研修を行うよりも前である。その時点での記述は確かに研修が十分では</p>  |

|       |   |
|-------|---|
| 西田委員  | <p>ないという部分もあったと思っている。その実態調査結果を受け、教育研究所としては全員研修や初任者に対しての研修を行っており、また各学校でも研修をしっかりと実施している。</p> <p>丹波篠山市教職員はこのことについて真摯に研修していると私は思っている。大西議員が何度か意識調査のことを言われ、丹波篠山市はしっかりと研修を進めてきた。そもそも研修は学校でするものであって、市教育委員会でするには限界がある。それを乗り越えて、教育委員会は真摯に取り組んでおり、決してなおざりにしているものではない。部落差別解消推進法の趣旨についての研修もし、今、小学校でこの問題をどのように扱っていけばよいのかの研修もしている。県下でも誇る研修をしている市であると自負している。よって事務局がそのように答弁をしたことに感謝する。</p> |
| 山本委員  | <p>17 頁、園田委員のヤングケアラー支援についての質問で、社会福祉課とも連携してヤングケアラーについての調査をすると答弁しているが、調査方法をもう具体的に考えているのか。</p>   |
| 浅田課長  | <p>社会福祉課が主となり調査をされ、教育委員会は一緒になってやっていくという方向性である。調査の内容は、社会福祉課で作成して関係機関に調査をする。学校教育課は、学校に協力を依頼する方向である。</p>   |
| 丹後教育長 | <p>ヤングケアラーの知識については、教職員はよく知っているが、子どもの周知度は全国的にもまだまだ課題である。子どもたちにもヤングケアラーについてまず知ってもらうことが大事だと思っている。</p>  |
| 西田委員  | <p>西脇市が総合教育会議でヤングケアラーを議題に取り上げて協議されており、市と教育委員会が連携して取り組んでいこうという内容であった。丹波篠山市の総合教育会議でも、教育委員会から市長への提案で、両者で考えていかなければいけない議題を協議していきたいと思う。</p>   |
| 丹後教育長 | <p>ご意見に感謝する。総合教育会議の議題についても参考にする。</p>  |
| 丹後教育長 | <p>報告 4「中高連携事業の進捗について」教育総務課報告を求める。</p>  |
| 中野課長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 山本委員  | <p>中高連携事業は前向きに迅速に進めていただいていることに感謝する。今回も生徒から高評価であったようだが、逆の意見もあれば教えてほしい。</p>   |
| 中野課長  | <p>また、今後の予定でポスター作成とあるがどのようなものを作成するのか。学校説明会に関して、生徒からの否定的な意見はほぼなかった。</p> <p>今後作成予定のポスターは、具体的な案はまだであるが、「それ、丹波篠山でできるで！」という昨年度のロゴは、適しているキャッチフレーズだと考えるので、ロゴはそのまま使っていきたいと考えている。デザインはこれから考えて作成する。</p>   |
| 山本委員  | <p>令和 3 年度ポスターは素晴らしかった。商店街等いろんな場所に掲示されていても目立って良かった。作成し直すというのは、第 2 弾でアピールをす</p>  |

|       |   |
|-------|---|
| 中野課長  | <p>るということか。</p> <p>ポスターに写っている生徒がもう高校を卒業されていることもあり、今の在校生が中学生に市内高校に来てほしいというメッセージも込めて新たな気持ちで作成する。このポスターを見ることで、中学生も保護者も意識は高まるのではないかと考える。沢山貼っていただけるようにして周知を図る。</p> |
| 丹後教育長 | <p>報告 5「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課報告を求める。</p>   |
| 浅田課長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 西田委員  | <p>SNS 絡みの不適切な使用は、根底に人権問題であるという認識をしっかりとって指導するように学校に願います。</p>  |
| 浅田課長  | <p>SNS 問題については、小学生からしっかりと指導をするよう学校に周知している。</p>  |
| 山本委員  | <p>SNS による誹謗中傷は人権問題である。学校でももちろん指導をされていると思うが、子どものこういう状況を家庭は把握をしているのか。学校だけでは対応できないような世の中になってきている。家庭への投げかけも難しいとは思いますがどうか。</p>                                    |
| 浅田課長  | <p>家庭への投げかけは、PTA 総会等で研修会を持たれる学校が多い。ただ、この2年間はコロナ禍で保護者に集まっていただく機会が少なかった。状況に応じてネットトラブル、ネットモラルについて、保護者と児童生徒とともに学習していただく機会を持っていただくことを学校に周知していく。</p>                |
| 丹後教育長 | <p>報告 6「令和4年度6月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求める。</p>   |
| 浅田課長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 丹後教育長 | <p>報告 7「丹波篠山市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」学校給食センター報告を求める。</p>   |
| 齋藤所長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 丹後教育長 | <p>報告 8「丹波篠山市今田幼稚園・今田保育園在り方検討委員会について」子育て企画課報告を求める。</p>  |
| 竹見課長  | <p>《議案書に基づき報告》</p>  |
| 西田委員  | <p>今田小学校、今田幼稚園訪問に際にも少し提案したが、市内で既にこども</p>  |



|       |  |
|-------|--|
| 西嶋次長  | 園化をした2園とはまた異なるかたちでの設置となる。教育課程を考えるような場やこども園と小学校の連携を考えるような場を、教育委員会が主導して取り組んでいく必要があると思う。現時点で教育委員会事務局としてどう考えているのか見解を問う。  |
| 稲山部長  | 教育課程については、教育委員会事務局で人選し、教育研究所指導主事、今田幼稚園職員、今田保育園職員とともにカリキュラムを組んでいく。  |
|       | 在り方検討委員会の中でも、これを機会に今田地区の小学校・中学校・こども園の在り方についても考えていくべきではないかという意見もいただいたので、考えていくことになると思う。  |
|       | こども園は一日も早い開園をということであつたので、令和6年4月に向けて取り組みたいと検討委員会で説明した。地元合意ができたので、森のターミナル敷地面積約7,700㎡のうち、イエローゾーンにかかっている5,000㎡を除いた2,000㎡の範囲で園舎を建設するための、設計・敷地測量予算の積算に今かかっており、概ね300万円以上を見込んでいる。1億円以上の工事なので早急に市投資事業審査会にかけ、その後、市議会に設計・測量予算を上程する予定である。現在のところ総事業費は4億2,000万円ぐらいを見込んでいる。設計業者が決まった時点では味間こども園・たきこども園の時と同様、保護者の意見も10月初め頃に聞かせていただいて設計をし、来年度当初予算を要求していく予定である。今、ウクライナ戦争の関係で資材入荷がしにくく状況もあり、完成時期は少し遅れることもあるかもしれない。しかしながら、令和6年4月開園が望ましいと思うので、厳しい日程ではあるが慎重にそれに向け取り組んでいく。 |
| 丹後教育長 | 報告9「田園交響ホール ステージオペレータークラブ 特定ラジオマイク運用調整機構主催 技術賞金賞受賞について」田園交響ホール報告を求める。  |
| 酒井館長  | 《議案書に基づき報告》  |
| 丹後教育長 | 田園交響ホールで、長年に渡りステージを裏方として支えてこられたスタッフの存在にスポットライトが当たったことを大変嬉しく思っている。裏方・表方という言い方に抵抗のある方もおられるが、私の立場は舞台上に立って挨拶をさせていただく機会がたくさんある。それを人目のつかないところで音響など調整いただいている方がおられることは知っておく必要があると思う。そのことが今回、表彰というわかりやすいかたちとなった。目立つところで活動する人、目立たないところでそれを支える活動をする人、両方が大事であるということ、子どもにも知らせる良いきっかけになったと喜んでいる。ステージオペレータークラブの方も、出演者や市民の皆さんに喜んでいただけることをやりがいに活動されている。   |
| 山本委員  | 光栄な賞を受賞されて、丹波篠山市としても誇らしい。何年前からこの賞があるのか。また本市はいつから応募していたのか。  |

|       |  |
|-------|--|
| 酒井館長  | <p>特定ラジオマイク運用調整機構主催 技術賞平成 14 年からある賞で、かつてはNHK 紅白歌合戦でNHK も受賞されている。オペレータークラブは、1988 年建設時から田園交響ホール運営に多くの人に関わっていただくこと、また費用をできるだけ抑えるために、市民ボランティアを募って裏方組織を作り、交響ホールを支えている。今年度は 19 期生を 7 月から募集しており、新しいスタッフを迎え養成していく。</p> <p>市民ミュージカルを 10 回開催し、つまり 20 年取り組んできたので今回初めて応募した。</p>  |
| 山本委員  | <p>初めての応募で受賞されたということで、1988 年からボランティアでありながら、プロ意識・専門知識を持って取り組んでおられたことがよくわかった。</p>  |
| 丹後教育長 | <p>報告 10「教育長報告」について報告する。</p> <p>報告にもあったが、市議会の一般質問があり、市議会議員の皆様からご意見をいただいた。</p> <p>6 月 17 日からふるさと一番会議が始まり、市内 20 箇所ですぐに実施となる。そこで地域の皆様からご意見をいただいております、市民の方がどのようなことに関心を持たれているのかがよくわかる。いただいた意見を教育に活かすことが大事だと思っている。</p> <p>37 頁、6 月校長会資料、「変化の激しい未来を『生きる力』(生き抜く力)」、について、教育目的はいろいろあるが、結局は子どもたちが未来を生き抜く力である。それは何かということで、文部科学省でもいろいろ言っているが、生きる力の中身が変化してきており、単に記憶する知識だけではないと言われている。ではどんな力があるのかというと、文部科学省等が発信していることを参考にしながら、市教育委員会も校長もそういうことを踏まえて、自分自身でも考えないといけないと思っている。近畿都市教育長会議の研修で聞かせてもらったのが、奈良先端科学技術大学院大学の塩崎学長の「共創」、共に創造する力である。現代の課題は複雑であり、一つの分野の専門家だけでは解決できない。よって様々な専門分野や社会全体が、「協働して共に新たな価値を創造する」共創が必要である。そのためには、コミュニケーションをとれる言語力、素直さも大事と言われていた。これも一つの重要な考え方である。これを参考にして、各学校各教員で考えていただきたいと校長会で話した。</p> |
| 丹後教育長 | <p>以上で、本日の審議は全て終了する。</p> <p>これをもって、第 3 回定例教育委員会を終了する。</p>  |